

議員提出議案第1号

「埼玉から地域が主役の改革を推進・支援する会」（埼玉改援隊）のマニフェストから議会改革に関する事項の撤回を求める決議

埼玉県内の首長有志を中心として結成された政治団体である「埼玉から地域が主役の改革を推進・支援する会」（埼玉改援隊）が、今般行われる予定の統一地方選挙での、選挙支援を目的に政策マニフェストを提示した。

その共通政策「共通八策」及び「地区マニフェスト」には、議会に関わる「市政・議会の情報公開の推進」と「議会のスリム化・適正化の推進」が掲げられている。

さいたま市議会は、平成19年の改選後、政務調査費の使途基準の明確化及び領収書等の全面公開、議員の定数・報酬の削減、議会基本条例と議決事件拡大条例の制定、予算委員会の常設など議会審議の充実、会期の拡大など、さまざまな改革に取り組み、学術機関からも議会改革度ランキングで上位に評価されるなど、政令市議会をリードする議会改革を進めてきた。

しかし、2月1日の本会議での緊急質問において、清水勇人市長は、さいたま市議会の取組を評価しておきながら、自らの政治団体におけるマニフェストの不適正な部分の扱いについて、撤回・修正を拒否した。

今般の「埼玉改援隊」のマニフェストは、このような、さいたま市議会の議会改革への取組を考慮することなく、また首長が議会改革に言及していることは、我が国の地方自治制度が採用している二元代表制の本旨を逸脱するものとして看過できない。

よって、さいたま市議会は、同団体の代表者である清水勇人市長に対し、同団体が提示したマニフェストから、議会改革に関する「議会の情報公開の推進」及び「議会のスリム化・適正化の推進」の2項目について、これを撤回するよう求める。

以上、決議する。

平成23年2月1日提出

提出者	さいたま市議会議員	青羽健仁
	同	武笠光明
	同	中山欽哉
賛成者	さいたま市議会議員	霜田紀子
	同	中山輝男

同	関	根	信	明
同	福	島	正	道
同	青	木	一	郎
同	萩	原	章	弘
同	野	口	吉	明
同	鶴	崎	敏	康
同	井	上	洋	平
同	中	島	隆	一
同	稻	川	晴	彦
同	沢	田		力
同	新	藤	信	夫
同	小	松	豊	吉